

人権・平和・環境などの地球的課題がテーマの参加型学習。特に日本と世界とのつながりを「持続可能な開発」をキーワードに考える。

アクティブラーニングを体験しよう!

ヘイトスピーチ・ わたし・社会



人間の尊厳を踏みにじる差別扇動が街角やネットで広がっています。ターゲットにされた人びとの恐怖と絶望を想像するとき、罵りの言葉が「わたし」の暮らすこの社会から生み出されていることに向き合う必要があります。排他的な空気を乗り越え、ともに生きる社会をつくりなおしていくために何ができるのか考えていきましょう。

講師：安田 浩一 さん (ジャーナリスト)

日時：2016年 **10月15日** (土) 16:00 ~ **16日** (日) 12:00

場所：関西セミナーハウス 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23 電話075-711-2115 [裏面に地図]

参加費：10,500円 (1泊夕朝食込み) ◎部分参加については事務局にお問合せ下さい。
◎2日目昼食ご希望の方は申込時にご予約ください。(1,150円)

*開発教育セミナーの趣旨より、宿泊は原則的に2~3名の相部屋となっておりますが、部屋割りについてご要望のある方はお問い合わせください。

*Webサイト(申込フォーム)、Fax(裏面書式)、電話、電子メール等でお申し込みください。

*申込締切：10月9日(日)、または定員30名に達し次第。(締切日以降は、電話でお問い合わせください。)

*前日正午以降の取り消し、ご変更は、キャンセル料がかかることがあります。

安田 浩一 やすだ こういち

1964年静岡県生まれ。『週刊宝石』(光文社)、『サンデー毎日』(毎日新聞社)記者などを経て2001年よりフリーに。事件、人権、労働問題などを中心に取材・執筆活動をしている。著書に『ルポ 差別と貧困の外国人労働者』(光文社新書、2010)、『外国人研修生殺人事件』(七つ森書館、2007)、『ネット私刑』(扶桑社、2015)など多数。

2011年、外国人労働者に関する一連の取材活動で貧困ジャーナリズム大賞受賞。

2012年『ネットと愛国』(講談社)で日本ジャーナリスト会議賞、講談社ノンフィクション賞を受賞。

2015年『G2』(講談社)掲載記事の『外国人隷属労働者』で大宅壮一ノンフィクション賞(雑誌部門)受賞。

◎ セミナー当日のタイムテーブル

- 【1日目】 15:30 ~ 受付
 16:00 ~ セッション1：今起こっていることを知ろう
 1. おたがいを知ろう
 2. 映像視聴・・・どんな気持ちですか？
 3. お話と話し合い
 18:00 ~ 夕食
 19:00 ~ セッション2：ヘイトスピーチの背景を理解しよう
 1. グループワーク「背景を考える」
 2. お話と話し合い
 21:00 ~ 交流会
- 【2日目】 8:00 ~ 朝食
 9:00 ~ セッション3：ともに生きるためのアイデアを見つけよう
 1. フォトランゲージ「ともに生きるをめざす人々」
 2. お話と話し合い
 3. グループワーク「わたしの行動計画」
 12:00 終了予定

セミナー期間中、開発教育関連書籍の販売があります。

◇ 2016年度 開発教育セミナー

- 第2回 7月9日(土)～10日(日)「地球市民を育むアクティブラーニング」
 講師：橋本 渉さん(東京大学教育学部附属中等教育学校)
- 第3回 9月10日(土)～11日(日)「政治って何なんだ！？～日本の戦後とこれから」
 講師：白井 聡さん(京都精華大学人文学部)
- 第5回 11月5日(土)～6日(日)「支配されるタネ～食料主権と持続可能な社会」〈オプション/フィールドワーク〉
 講師：西川 芳昭さん(龍谷大学経済学部)
- 第6回 12月10日(土)～11日(日)「イスラームから世界を見る～中東とヨーロッパの今」
 講師：内藤 正典さん(同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科)

* 各プログラムの詳細・最新情報は、当センターウェブサイト (<http://www.academy-kansai.org>) にも随時掲載いたします。

<主催>

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
 関西セミナーハウス活動センター

<http://www.academy-kansai.org>

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

Eメール office@academy-kansai.org

所長 榎本 栄次

担当 都木かおり



[2016年度 第4回 開発教育セミナー申込書]

* 地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、タクシーは北山駅(出口②)が拾いやすいです。

(フリガナ)			
名前	(男・女)	所属	
住所〒			
電話 ()	-	FAX ()	-
電子メール:		@	
通信欄			